

9条の会 19の日宣伝スポット（2018年7月19日）

By 松崎 真子

★ エコマミでお買い物中の皆さん、ご通行中の皆さん！ 私たちは、力をあわせて憲法を守り生かそうと運動している広陵町憲法9条の会です。今日は、この場をお借りして憲法9条を守り、生かした平和で暮らしやすい社会を実現しようと訴えさせていただきます。

また、私たちは、「安倍九条改憲NO！ 憲法を生かす全国統一署名」に取り組んでいます。この署名は、作家の瀬戸内寂聴さんや、ノーベル物理学賞を受賞した益川敏英さん、作詞家のなかにし礼さんなど19の方が呼びかけ、3000万人を目標に集めている署名です。既に先月6月7日に、1350万人分の署名を国会へ提出し請願を行いました。安倍首相は、今なお憲法9条を変えることをあきらめていません。その狙いは憲法で自衛隊を公認し、海外で制限なしに武力行使ができるようにすることにあります。安倍首相にこの危険な「9条改憲」を断念させるため、引き続き3000万署名達成を目指して全国で署名行動を行っています。

どうかお配りしているチラシをお読み下さい。また「戦争だけはイヤだ」の声をこの3000万人署名に託してください。ご協力をよろしくお願い致します。

★皆さん、4月27日、南北朝鮮の首脳会談が行われ、その後6月12日には、トランプ大統領と金正恩（キム ジョンウン）委員長の初の米朝首脳会談が行われ、朝鮮半島の情勢が大きく変わりました。長年にわたって激しく敵対してきたアメリカと北朝鮮が一触即発の戦争の危機を回避し、平和と繁栄を目指す関係へ対話と協議を進めることで合意し、すでにそのプロセスが始まっています。この一連の南北首脳会談・米朝首脳会談は、「戦争は絶対ダメ。ましてや核戦争などもっての外」という全世界の人々の切実な声と運動の結果であり、これは間違いなく歴史的な大きな成果と言えるのではないのでしょうか。

一部には「合意内容が具体性に乏しい」とか「北朝鮮はまた裏切るだろう」など否定的な見方がありますが、何よりも戦争の危機を回避したこと、その上に朝鮮半島の非核化と永続的で安定した平和体制の構築を首脳間で合意したことは画期的なことであり、日本を含む北東アジアの平和にとっても大きな意義があります。確かにこれまで1994年の米朝枠組み合意や2005年の6か国協議共同声明などがありながら期待を裏切られてきました。しかしアメリカと北朝鮮の両首脳の間で直接会談と合意は歴史上初めてのことであり特別の重みがあります。今後色々な困難もあるでしょうが日本を含め全世界が開始された平和のプロセスを前に進め成功させるため協力することが重要ではないのでしょうか。

★日本国憲法9条の徹底した平和主義が、今ほど輝きを増しているときはありません。

「平和的生存権」、「戦争の放棄」、「戦力不保持」、「交戦権の否認」をうたう憲法を持つ日本は、安倍政権がこれまで取ってきたような「対話拒否・圧力一辺倒」ではなく「交渉による問題解決」にしっかりと方向転換し、憲法9条を生かして北朝鮮問題の平和解決の先頭に立つべきではないのでしょうか。そして、自主的な、しっかりした構想をもってこの朝鮮半島の平和のプロセスに参加し、2002年に北朝鮮との間で交わされた日朝平壤宣言に基づいて核・ミサイル・拉致問題・過去の植民地支配の清算などを包括的に解決し、日本と北朝鮮の国交正常化への道を追求してほしいと思います。

★今年には日本国憲法施行71年になります。この71年間、私たち国民は憲法の平和と人権と民主主義の原則をしっかりと守り、日本の社会と政治に生かそうと努力を続けてきまし

た。ところが今、安倍首相は、何が何でも自分が憲法 9 条を変えるのだと執念を燃やし、「二度と戦争をしない、戦力を持たない」と決めた憲法九条に実質的な軍隊である自衛隊の存在を書き込もうとしています。安倍首相は、自衛隊を書き込むだけだから何も変わらないと言いますが本当にそうでしょうか？

実質的な軍隊である自衛隊が憲法で公認されれば自衛隊が海外で自由に武力行使することも合憲と言うことになり、憲法 9 条は変わらないどころか死んでしまいます。

私たちが、自衛隊の人たちに感謝の気持ちを持つのは、災害復旧で一所懸命頑張っている自衛隊員の方々に対してです。自衛隊員が武器を持って他国へ出かけ、人を殺したり殺されたりするようなことを願ってはいません。憲法 9 条を守り生かすことが、自衛隊員をはじめ国民の命を守ることにもなります。諸外国からも、日本国憲法の下での平和外交が認められ、戦争をしない国と認められたからこそ、日本は経済や政治に専念することが出来、日本の繁栄があったのではないのでしょうか。

国民の多くは、今憲法を変えることを望んでいません。今こそ憲法 9 条を輝かせ、平和外交を推進することが求められています。安倍首相に、憲法 9 条を変えさせてはなりません。エコミミでお買い物途中の皆さん、ご通行中の皆さん、ぜひ「安倍九条改憲 NO！憲法を生かす 3000 万人署名にご協力ください。よろしくお祈りします。

★安倍政権は、北朝鮮や中国の脅威をあおって軍備増強をすすめ、憲法 9 条に「海外で武力行使をする自衛隊」を書き加え要としています。これは日本を「戦争しない国」から「戦争する国」へ変えることになります。

この間、安倍政権と自民党は、森友学園・加計学園問題、自衛隊の日報問題などで、公文書の破棄や隠蔽を行い、追求されて隠せなくなると改ざんしたものを出すなど、ずっと国会と国民をだまし続け、今もなお真実を明らかにしようとしていません。森友・加計疑惑について、安倍首相夫妻の関与がますます明らかになってきたにもかかわらず、その責任を官僚に押し付け、疑惑追及からの逃げ切りを図ろうとしています。

さらに安倍政権は、「過労死促進法」と言われる「残業代ゼロ法案＝高度プロフェッショナル制度」を過労死家族の会やすべての労働団体、法律団体が強く反対するなか、強行採決により成立させました。この制度は労働時間規制をすべて取り払うもので「労働時間は法律でこれを定める」と規定している憲法 27 条第 2 項にも違反します。

また、安倍政権は、先日の西日本豪雨災害により多くの方が被災し命の危険にさらされているさなかに、刑法が禁じる賭け賭博・カジノを解禁するカジノ実施法案を強行成立させようとしています。民間の賭博が合法化され、ギャンブル依存症や生活破壊の増加が心配されています。審議の中で、カジノ解禁推進法の提案議員全員がアメリカのカジノ企業からお金をもらっていたことも明らかになっています。カジノ実施法はアメリカのカジノ企業の儲けのために日本国民を犠牲にするもので絶対に許す訳にはいきません。

このような「ウソとごまかしがまかり通る政治」、「国民をないがしろにする政治」は、この国の民主主義を土台から崩してしまいます。そんなウソとごまかしの安倍政権や自民党に憲法を変える資格などないのではないのでしょうか。

エコミミでお買い物途中の皆さん、ご通行中の皆さん、ウソとごまかしの安倍政権を終わらせるためにご一緒に声を上げ力を合わせましょう。どうかお配りしているチラシをお読み下さい。そして、「安倍九条改憲 NO！憲法を生かす 3000 万人署名に是非ご協力ください。よろしくお祈りします。